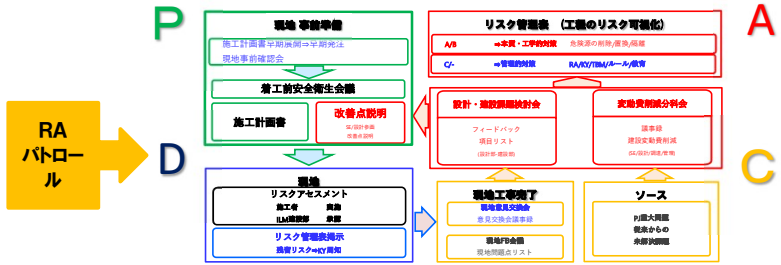


	重点施策		KPI (項目/目標値)
	【産汎領域重点施策】 『リスクアセスメント』、『安全五原則』の定着と、OHSMS（労働安全衛生マネジメントシステム）の運用による安全管理体制の整備と管理レベルの質的向上を推進する。	■ 重大災害・休業 ■ 全災害度数率（工場） ■ 全災害度数率（建設）	ゼロ 0.6未満 1.2未満
	1. 安全衛生マネジメントシステム（OHSMS）の強化		毎月パトロール実施
	■ リスクアセスメントの高度化、重大リスクへの投資、OHSMSへの統合 ① リスクアセスメントの高度化 ● リスクアセスメントと連携した職場安全作業基準の整備と遵守徹底 ● リスクアセスメントを軸にしたPDCAサイクルの継続的展開と浸透	① リスクアセスメントの高度化 「C:評価」についてはリスクアセスメントパトロール実施し、以下確認する （1）危険源A,Bを全員に周知徹底 ・危険源MAP（工場）、危険源安全標識、リスク管理表、安全対策MAP（サービス）など積極的活用 ・リスクアセスメント連動したKY （2）重大リスクの対策度合い 本質的対策の判断 （3）予定外作業などの対応状況は適切か	業者訪問対話会 <据付> 【会話業者無災害】 1件／月パトロール RAの確認 【該当現場無災害】
		② 本質的対策事案の発見と投資 （1）リスクアセスメントパトロールでの判断結果 （2）（サービス）リスクアセスメント表紙<現場書き込み> （3）（サービス）携帯アプリ（トークノート）活用によるF／B （4）設計・建設課題検討会 （5）変動費削減分科会 上記は経営幹部まで上がる仕組みがあり、投資判断する	毎月安全衛生委員 パトロール&声掛け 【該当現場無災害】
	● リスクアセスメントパトロールの実施による評価実施 ② 重大リスクへの投資 ● 危険源レベルA・Bへの本質的対策の実施（マネジメント関与による経営資源の投下も含めた判断と実行） ③ OHSMSへの統合 ● 製品・設備の安全機能の再確認と高度化に向けた更なる対策の実施 ※OHSMS（労働安全衛生マネジメントシステム）への組み込みについて、	③ リスクアセスメント定着に向けた規定及びISO45001安全衛生マニ	経営幹部／領域／クロスパトロール 危険源レベルA、B 災害発生時 【リスク認識100%、リスク評価75%以上、リスク対応処置50%以上】 検討会議、規定改正実施 【今年度より集計・KPI無】 安全対策費 【今年度より集計・KPI無】
	2. 一人ひとりの安全行動の強化		活動状況
	■ 安全五原則の自分事化と「相互啓発型」に向けた安全文化の醸成、自らの行動への落とし込み ① 「安全五原則」の改めでの自分事化「知っている」から「常にてきている」へ深化する ② KYM、RA等のコミュニケーションにより、安全施策・注意事項の認識共通化 ③ 危険感受性の向上による、自主点検の文化醸成 （ZIKOZERO活用による安全活動推進）⇒「自立型・相互啓発型」組織を目指す ④ 未熟練作業者の危険意識、予知レベルの向上 （AI活用によるRA、KY、予知レベル向上）	①② 安全五原則の実施状況を点検する （1）安全より優先していることはないか （2）危険な作業はないか （3）災害要因の放置はないか、整理整頓状況 （4）ルール逸脱はないか （5）安全努力しているか ③ ZIKOZERO視聴 ④ AIツールを活用しRA、KYのレベルアップ実施	①②パトロールで確認 ③ ZIKOZERO活用件数 ④ AI活用件数
	3. 安衛協関係【ILM重点】 安全衛生協議会を活性化し、一体となった安全活動を推進する。そのために以下施策を実施する （ア）協力会社への情報提供 ● HP活用 … コンテンツ拡充 ● 安衛協ニュース発行 … 1Qに1度配信する （イ）安全表彰 ● 標語表彰 … 年1回実施 ● 安全表彰 … 年1回実施 （ウ）学び合い ● 研修会 … 年1回実施 （エ）懇親 ● 賀詞交歓会 … 年1回実施 ● 総会懇親会 … 年1回実施 （オ）協力会社への教育 ● 職長・安責者教育 … 年2回実施 （カ）常任委員会 ● 常任委員会 … 年5回実施、最終 慰労懇親会	（ア）協力会社への情報提供 ● HP活用 ● 安衛協ニュース発行 （イ）安全表彰 ● 標語表彰 ● 安全表彰 （ウ）学び合い ● 研修会 （エ）懇親 ● 賀詞交歓会 ● 総会懇親会 （オ）協力会社への教育 ● 職長・安責者教育 （カ）常任委員会 ● 常任委員会	スケジュール遵守 行事 ILM教育 常任委員会
	ISO45001内部監査／外部監査	■ 資格継続	資格継続
	安全定例会【社長、安全担当役員、建設部門、サービス部門、産業機械サービス部門、安全衛生部】	■ 情報共有・交換【定期】	スケジュール遵守
	本社安全衛生委員会	■ 本社安全衛生委員会の実施 （☆印：パトロール実施）1回/月	スケジュール遵守
	工場交流会	■ 本宮、倉敷、CCCとの情報交換	工場（4回／年）実施
	教育	■ SMTフォローアップ教育 4回×6時間	資格継続
	安全のしおり発行	■ ILM社内への安全衛生情報の共有	毎月発行